

平成 16 年度 秋期 上級システムアドミニストレータ試験 解答例

午後 試験

問 1

設問	解答例・解答の要点	備考
設問 1	(1) 推奨案の選択など、多数の事例を横並びに分析しなければ明確にできない事項について、適切に記述していること	
	(2) ノウハウに容易にアクセスできること、最新のノウハウを得られること、専門家がレビューしたノウハウを得られることなど、現状の問題解決に役立つと思われるメリットのうち二つを適切に記述していること	
設問 2	(1) 工事計画審査実施の前提条件としてノウハウ集の参照を義務化することなど、工事計画審査に関連して、ノウハウ集が利用されるようなルールについて、適切に記述していること	
	(2) 工事計画にノウハウ集を反映したことを確認できるようなチェックリスト	
設問 3	新しい工事ノウハウが関係するほかのリニューアル工事を施工中の担当者に短期間で伝えることができ、伝達状況が管理できるシステムの機能を、適切に記述していること	

問 2

設問	解答例・解答の要点	備考
設問 1	(1) マーケティング部門、設計・開発部門ごとに実施していた機能の検討を新製品の検討の初期段階から、相互に情報を共有しながら共同で実施できるよう支援する情報共有機能などを、適切に記述していること	
	(2) 検討期間が短くなる、製品の品質が高まるなど、ノウハウの活用が進むことによって得られる、具体的な効果について適切に記述していること	
設問 2	機能仕様や機能変更と欠陥との関係を分析し、その内容をグラフなどで容易に確認できる機能などを、適切に記述していること	
設問 3	(1) レビュー結果項目と内容を活用できるように、確実に記録できる機能について、適切に記述していること	
	(2) レビュー結果を関係者間で相互に確認し、開発の実施に承認を必要とする機能など、(1)で指摘したレビュー結果の記録を関係者が確認し、設計・開発に反映させるために必要な機能について、適切に記述していること	
設問 4	標準書式文書の利用と、それを活用したプロセス管理やワークフローを支援する機能について、適切に記述していること	

問 3

設問	解答例・解答の要点	備考
設問 1	・ 営業支援担当者の検証内容	
	・ 摘要コードの使用方法	
設問 2	証ひょう類のイメージデータをパソコンで会計データと一緒に送る、仮払申請を経費精算システムに組み込み、精算と相殺する仕組みを作る、上司が承認した時点で振込を行い、後から検証を行う、などの方法のうち二つを記述していること	
	・ 摘要コード、支出から申請まで、申請から承認までの日数をチェックする機能	
設問 3	・ 1 万円未満のデータは自動承認とする機能	
	経費予算実績表に必要なデータを格納し、幾つかの切り口でデータを定型的に表示するシステムの構築などを、適切に記述していること	

問 4

設問		解答例・解答の要点	備考
設問 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人情報への不正アクセスの予防や是正に関する方針</li> <li>・ 個人情報の紛失や破壊などの予防や是正に関する方針</li> </ul>	
設問 2	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 契約終了時の個人情報の返却及び消去</li> <li>・ 事故発生時の責任分担</li> <li>・ 再委託に関する事項</li> </ul>	
	(2)	委託業者との個人情報の受渡しが安全・確実に行われることや、移動時のデータ紛失事故などへの対策について、適切に記述していること	
設問 3		データの暗号化や重要データのサーバ限定保有など、盗難時の情報漏えい防止策について、適切に記述していること 又は緊急連絡体制や対策手順の確立など、発生した場合の対応策について、適切に記述していること	
設問 4	(1)	専門組織や選定メンバによる定期的又は抜き打ち的な監査、チェックリストなど活用しての実施状況の記録・点検など、T 社の状況において、実行可能な適切な対策を記述していること	
	(2)	派遣、アルバイトを含めた関係全従業員への教育徹底や、秘密保持の誓約書又は契約書の取り交わしなど、適切な対策を記述していること	